

# 警察庁と出会って

入庁前の想い、入庁後の印象、  
ときどき官庁訪問などの話。



警察庁 I 種技術系行政官  
(平成23年度入庁)一同



## はじめに

**警察庁**ってどんなところ？警察官の仕事のイメージは、テレビのドキュメンタリーやドラマを通じて湧きやすいけれど…。

「警察庁ってマジメな人ばかり？」、「規律正しい生活を求められるの？」、「もしかして体育会系？」

これから就職活動を行う皆さんは、警察庁に対して、このように思っているのではないのでしょうか。

入庁1年目の私たちも、ここだけの話、同じような印象を持っていました。

警察庁の仕事は、**国民の警察に寄せる期待の大きさ**と、その影響力から、責任は大きく、時には困難な課題にも果敢に立ち向かっていく必要があり、**規律を求められる場面がある**のも確かです。

しかし、そこで働く職員は、非常に個性豊かで、ユーモアにあふれ、正に「**純情派**」といった面々が、時には意見をぶつけ合い、時には励まし合い、国民の安全・安心を確保するために、日々奮闘しているのです。

そんな警察庁のことを少しでも知ってほしく、また、**入庁1年目**の私たちの目を通した警察庁の姿を伝えることで、皆さんの重要な進路を決める一助になればと思い、この冊子を作成することにしました。

合わせて、国家公務員試験や官庁訪問に関する情報も掲載しています。国家公務員試験の情報の入手には、私たちも苦労した経験があります。必勝法ではなく、あくまでも参考程度ですが、私たちの経験が少しでも役立てばと思っています。

警察庁の業務はやりがいにも満ちています。

この冊子を見た方が入庁し、警察庁と一緒に仕事をすることができる日が来ることを楽しみにしています。

平成23年11月

警察庁 種技術系行政官(平成23年入庁) 一同

## 入庁者 その1

### 基本情報

専攻：建築学  
官庁訪問時期：春期

試験区分：理工  
説明会参加回数：3回

#### Q1 採用活動のスケジュールは…

学部3年の秋から就職活動を開始した。良い就職先に出会えればそれはそれで良いし、もし出会わなくとも、院生になってからの就職活動で役に立つであろうと考えていた。その過程で、国家公務員 種試験、特に試験に合格した場合には官庁訪問を3年間受けることができる制度があることを知り、ひとまず受けてみようと、2月頃から試験勉強を始めた。

学部4年時に国家公務員 種試験を受験し、合格したが、結局、その年は官庁訪問は行わずに、進学することとした。

修士1年の10月に、就職活動を再開した。時間の許す限り、公務員や民間の様々な就職説明会に参加して、情報を集めた。そうすることで、これまでの生活ではあまり知ることのなかった、いわゆるBtoBの企業を知り、僅かではあるが、社会というものを垣間見ることができた。また、公務員と民間について比較する材料も多く入手することができた。

修士2年に進級する前に、志望が固まったので、修士2年の4月に官庁訪問をし、翌年、警察庁に入庁した。

#### Q2 志望動機は…

～国家公務員～

民間の技術系職員は、スペシャリスト指向が強いように感じ、また、地方公務員にしても、専攻が建築である私は、建築区分で受験し、その後も建築関係の部署で勤務することになるであろうと考えられた。長い社会人人生の中で、自分はスペシャリストというよりジェネラリストとして過ごしたいと思っていたため、異動のサイクルは、2、3年おきが多く、様々な部署で経験を積むことができる国家公務員に惹かれた。また、各省庁の採用担当者が語る仕事への想い、考え方に素直に共感することができたというのも、国家公務員への志望動機を高めた要因の一つである。

～警察庁～

建築に限らず、科学技術一般が広く好きであり、近年の情報通信技術の進歩の素晴らしさを実感していたが、同時に、情報通信技術を悪用した犯

罪、日常生活ではフィッシング、オークション詐欺、国家レベルではサイバー攻撃等のニュースを耳にすることも多かった。技術が好きであるからこそ、より良い社会のために技術が使われてほしく、情報通信技術を悪用した犯罪への対応、情報通信技術を活用した犯罪捜査の支援ができるということを知り、自分の想いを実現できる場所として警察庁を志望した。

### Q3 国家公務員試験に対する助言等は…

一般教養については、市販の参考書等で早いうちから問題に慣れておくことと、出題範囲が広いので、切り捨てる分野は早めに切り捨てるのが良いと思う。専門(私の場合は建築)については、大学の授業内容が分かっていたら大丈夫であるように思う。理系の専門分野に関する対策本は、市販品としてはまず見かけなかったため、大学の就職担当課にある公務員試験の過去問や院試の過去問が参考になった。また、専攻に関する資格試験(私の場合は一級建築士)の参考書も役に立った。

### Q4 官庁訪問は…

官庁訪問は、総じて和やかな雰囲気で行っていった。実質的には面接ではあるが、私の話や疑問を真剣に聞いてもらい、また、仕事の経験談についても聞くことができた。自分を知ってもらうだけでなく、警察庁を更に知るための機会であったようにも思う。面接の合間には、他の受験者と情報交換や雑談をして過ごしたり、一人で面接待ちになる時は、職員の方が気さくに話し相手になってくれた。

春期の官庁訪問は、民間の採用面接とも重なるので、面接先の心証を害さない程度に調整する必要がある。自分の力量次第で早期に片付けられる予定等については、官庁訪問前に片付けておくのが良いと思う。また、他省庁も並行して訪問する場合は、毎日官庁訪問をすることになるため、それも含めた計画を練る必要がある。

### Q5 官庁訪問前と入庁後の、警察庁に対する印象の変化は…

遠い存在から、自分の職場という近い存在になって感じたことは、やはり規律正しい組織であるということ。また、警察庁自体は、官庁訪問時前は、さほど大きい組織である印象は受けなかったが(省庁の中で、職員数が多い方ではないため)、警察組織は、地方機関や都道府県警察を含めて考えると、大規模な組織(警察職員は全国で約29万人)であり、その影響力なども非常に大きいものであると感じる。

ただそれでも、アットホームな雰囲気を不思議であるが日々実感している。

## 入庁者 その2

### 基本情報

専攻：機械工学  
官庁訪問時期：夏期

試験区分：理工  
説明会参加回数：0回

#### Q1 採用活動のスケジュールは…

修士1年の4月から将来について意識し始め、官庁・民間企業への就職だけでなく、博士課程への進学を含めて情報の収集・検討を行いました。修士1年の2月頃には技術系行政官への志望が固まったため、民間企業への就職活動は行わず、4月から研究の合間に国家公務員 種試験の勉強を行いました。

その年の国家公務員 種試験に合格し、官庁訪問を経て、翌年、警察庁に入庁しました。

#### Q2 志望動機は…

～国家公務員～

私が国家公務員を志した理由は、その業務範囲が広いことに魅力を感じたことと、幼少期を外国のある発展途上国で過ごしたことで、貧困と成長への意欲を知り、日本がそれらの国と同様に、貧困生活を強いられることが無いように支えていきたいと考えたためです。

～警察庁～

警察庁を志望した理由もまた、外国における経験が関係しています。20年ほど前のその国では、選挙のたびに暴動が発生したり、交通事故が起きて警察を呼ばないなど、非常に治安が悪く、警察組織に対する国民の信頼もほとんどなかったように見受けられました。そして日本に帰国して治安の良さを日々実感する中で、警察関係者の努力によって治安が維持されていることを思い、自らもその一翼を担いたいと考えました。また、警察庁は他の省庁と比べて確かな現場を担っているため、自らが立案した施策が現場においてどの様に実行されているかを、自らの目で確認することができ、その結果をその後の施策立案に活かすことができる点も非常に魅力的に感じました。

### Q3 国家公務員試験に対する助言等は…

私が国家公務員 種試験を受験するに当たって行ったことは、一般教養の参考書を一通り読むことと、問題集を解くことです。特に問題集を解くに当たっては、解説欄を読むことに注力しました。専門分野に関しては、大学の授業で十分対応することができたため、公務員試験対策は、特段行いませんでしたが、日々の研究や友人に国家公務員 種試験の専門分野について教えていたことにより補われたとは思っています。

なお、友人の国家公務員 種試験の勉強に協力した経験から言えることは、学習方法は人それぞれに適したものがあるため、これまでの経験を振り返って、どの方法が自分に適しているかを自分で考えることが、最善な方法を選択できる上に、分析力・立案力を鍛えるという点からも重要なのではないかと思います。

### Q4 官庁訪問は…

官庁訪問に際しては自己分析等の下準備も必要ですが、それ以上に日本を支えたいという強い意志と前向きな姿勢を示すことが重要ではないかと思います。なぜなら、国家公務員は激務であり、中でも警察庁は危機管理官庁であるため、事案に臨んで果敢であることが求められるからです。面接の際には分析力、問題発見力といった能力面はもとより、精神的な面もまた見られているのではないかと思います。

### Q5 官庁訪問前と入庁後の、警察庁に対する印象の変化は…

官庁訪問前は警察組織だから、非常に規律が厳しく、常に緊張を強いられるものと覚悟していました。しかし、警察庁入庁後の警察大学校附属警察情報通信学校の研修や地方研修を通じて、規律は厳しいものの、メリハリがしっかりしており、人間味のある組織であると感じるようになりました。

また、警察組織は、非常に長い年月にわたり存在してきた組織であるため、柔軟性に欠けるのではないかと考えていましたが、実際には情報技術解析や初動警察通信活動など、新しい試みが日々なされており、今後も新しいことにチャレンジしていくことができる組織ではないかと感じております。これは、その時々々の世相を反映している犯罪に的確に対応するためには、新たな試みを実践していくことが必然的に求められるからなのかも知れません。

## 入庁者 その3

### 基本情報

専攻 : 土木工学  
官庁訪問時期 : 夏期

試験区分 : 理工  
説明会参加回数 : 1回

#### Q1 採用活動のスケジュールは…

最終学年の前年度の4月くらいから国家公務員 種の試験勉強を始め、その年度の前年度の国家公務員 種試験に合格しました。

そして、最終学年の前年度の2月頃から公務員になるという選択肢を意識し始め、学内説明会、人事院主催の説明会などにも行きました。並行して、公務員試験対策の勉強を行って、公務員試験をいくつか受けました。

官庁訪問をした結果、翌年、警察庁に入庁することになりました。

#### Q2 志望動機は…

～国家公務員～

一つ目は、様々なフィールドで仕事に取り組めることです。霞が関での勤務だけではなく、地方勤務、海外勤務等もあるので様々な経験を積み、それらの経験を通して自分を成長させることができるのが魅力的だと感じました。二つ目は、国家の発展に貢献できることです。自分が育ったこの日本が今後とも豊かな国でいられるよう、舵を取る立場で、尽力したいと思ったからです。

～警察庁～

一つ目は、誇りと正義感をもって仕事に取り組むことができることです。日本の治安の維持に関わるという正義を貫き人の為になる仕事ができることは非常に誇らしいことだと思っています。二つ目は、自分が今まで勉強してきたことを活かせることです。私は、今まで土木工学と情報学を学んできましたが、これらの知識をどちらも活かすことができます。三つ目は、情報通信以外にも様々な分野の仕事に取り組めることです。これらの仕事を通して自分の視野を広げ、成長することができるのがとても魅力的だと感じました。

### Q 3 国家公務員試験に対する助言等は…

教養試験は、公務員試験対策の本を数冊購入し、知識を習得しました。また、高校の時に使っていた教科書を使って復習しました。

専門試験は、大学学部2回生及び3回生の頃の専門科目の授業ノートを見返して復習し、その授業で取り扱った問題を解いて演習を積みました。また、専門試験の公務員試験の問題集を購入して演習しました。

なお、過去問の演習は、教養試験、専門試験共にやりこみました。

### Q 4 官庁訪問は…

官庁訪問の時は、採用担当の職員に暖かく迎えてもらい、面接の空き時間等楽しく話してもらったので、堅苦しい雰囲気はあまり感じませんでした。真面目な人が多いとは思いましたが、物腰がやわらかで接しやすい人が多いと感じました。面接の時は、自分が常々考えていることをうまく引き出してもらえました。

助言としましては、自分の考えていることを、言葉にして相手に分かりやすく伝える訓練を積むのが効果的だと思います。また、日頃から社会で起きている様々な事件、事象に関心を持ち、それらについて自分はどのような意見を持っているのかを説明できるようにすることができるとよいのではないかと思います。面接官からの質問内容がよくわからない場合には素直に聞き直すことが大切だと思います。

### Q 5 官庁訪問前と入庁後の、警察庁に対する印象の変化は…

警察庁の職員の方々には、真面目で笑顔もほとんど見せないというイメージが官庁訪問前にはあったのですが、入庁して様々な職員と接してみると、考え方は真面目であっても話すとフレンドリーで気さくな人が多いという印象の変化がありました。また、一人一人が色々な考えを持っていてとても個性的で誰しもが深みのある人が多いと感じました。

そして、警察庁も行政組織であることから縦割りなのではないかというイメージがありましたが、実際には別の課であっても人と人とのつながりが強くことから横の連携も強いと感じました。

## 入庁者 その4

### 基本情報

専攻：数値流体力学  
官庁訪問時期：夏期

試験区分：理工  
説明会参加回数：0回

#### Q1 採用活動のスケジュールは…

大学院修士課程1年の1月頃から国家公務員 種試験の勉強を開始しました。

大学院修士課程2年目に試験に合格しましたが、結局この年は官庁訪問を行わずに博士課程へ進学しました。ですが、日々研究に取り組む中で、自分の成果が社会に反映される仕事をしたいと感じ、4月頃に国家公務員として就職しようと決意し、各省庁の技術系行政官の役割について調べ始めました。官庁訪問を実際に行ったのは博士課程1年目の夏期となります。

#### Q2 志望動機は…

～国家公務員～

公務員を目指したのは、一言でいえば人の役に立つ仕事をしたいと思っていたからです。その中でも、国家公務員の打ち出す政策は日本全体、国民全体に影響を及ぼします。また、国の10年、20年後の在り方を考え、実現することができるのが国家公務員です。その責任は大きいですが、民間の仕事では得られない達成感を得られると思っており、国家公務員を志望しました。

～警察庁～

警察庁は日本の治安維持という役割を担っています。安全・安心は、日本では当たり前の存在として見られていますが、それには警察組織の支えが必要不可欠であり、私も、警察庁の業務を通じて安全・安心な日本を創るという仕事をしたいと考え志望しました。警察官になって身近な人の役に立とうとしないのかということを質問されたこともありますが、技術的な知見を活かした仕事をしたいという思いがあったため、この道を選びました。現場で活動している警察官を技術によって支え、警察官の活動を通して日本に住んでいるすべての人々の役に立てることに魅力を感じました。

### Q3 国家公務員試験に対する助言等は…

基本的には過去の問題を3年分ほど解いて傾向をつかみ、苦手な分野を大学の教科書などを使って勉強しました。

まずは過去問を解くことをお勧めします。 そうすれば、問題の分量、傾向などが自ずとつかめ、苦手な分野も分かります。また、間違えた問題について解説を読んだり、自分で調べ直したりすることで力が付くと思います。

一般教養は、早め早めに取り組むことが重要です。昔の教科書を時間のあるときに読み返したり、普段読まない分野の本を読んでみたり。正に教養ですので、一夜漬けが効きません。 根気強く取り組んでください。

### Q4 官庁訪問は…

訪問する官庁のHPを見たりパンフレットを読んだりして、どのような仕事をしていて、自分の今まで勉強してきたこととどのように関連しているかについて考えることが重要です。さらに、官庁訪問では、たくさんの方からキャリアパス、今まで携わった仕事、組織の魅力などについて話を聞くことができますので、気になっていたこと、よく分かっていないことなどを質問し、警察庁に対する理解を深めてほしいと思います。まだ警察の組織のことを知らなくて当たり前なので、分からないことは分からないと素直に認め、多くのことを質問してください。

私自身は、対応してもらった多くの職員から、非常に楽しそうに自身の業務を話してもらったことで、自分の仕事を魅力的に話せられる人と一緒に仕事をしてみたいと感じました。

### Q5 官庁訪問前と入庁後の、警察庁に対する印象の変化は…

官庁訪問前は、警察組織なのだから厳しい規律があるに違いない、息詰まる雰囲気の中で仕事をしていたらどうしようと少し心配していました。ですが、官庁訪問をし、そして実際に入庁した今では、国民からの信頼を失わないために、規律が求められる場面はあるものの、人と人とのつながりで仕事を行っている非常に温かい組織であると感じています。 警察庁の職員が自分の仕事に誇りを持って取り組んでいる姿も非常に魅力的であると感じています。



伊豆半島にて  
(プライベート)



友達との飲み会にて  
(プライベート)



地方研修にて



警察情報通信学校にて

警察庁 I 種技術系行政官  
(平成23年度入庁)一同